

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している(相談窓口の設置、コンプライアンスマニュアルの策定)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・コンプライアンスマニュアルを策定している ・相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。 ・顧問の社会保険労務士と密に連携し、長時間労働是正のための体制の整備・検討をしている。									8.5 8.8								
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・相談窓口を設置している				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員向けの安全大会の実施、ポスター掲示等を活用して周知徹底している。 ・コンプライアンスマニュアルを策定している			3						8								
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・コンプライアンスマニュアルを策定している ・メンタルヘルス担当官を決め、相談窓口を設置している			3														
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・65歳定年後、70歳まで雇用できる仕組みを設けている ・多様な人材の活躍状況をHPや広報誌等で積極的に発信している					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた研修を適宜実施している ・人材育成計画を明確にし実施している				4	5.5				8	9							
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・顧問の社会保険労務士の指導の下対応している					5.5				8.5	10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】都道府県協会けんぽ、健保連に「健康企業宣言」を行う			3						8								
環境	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の種類・量など現状を把握している										11.6	12.4		14.1				
	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している								7.3				13					
	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減に取り組んでいる ・J-クレジット認証制度に登録している ・再生可能エネルギー由来の電力を一部使用し、温室								7.2 7.3			12.4	13.3					
	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用しない、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3				11.6	12.4						
	<input type="checkbox"/>	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮した山づくり、製品づくり、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している ・SGECのFM認証、CoC認証を取得している ・生分解性オイルを使用している(チェンソーオイル)					6.6								15				
	<input type="checkbox"/>	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・現場での資源利用の削減、再利用を推進している											12.5		14.1				

17

□

**【水の管理】**

・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる

チャレンジ

・**【予定】**自社の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定する

6.4  
6.6

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・SGECのFM認証、CoC認証を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・SGECの定期審査で環境に対する取り組みを審査されている ・HP等で環境保全に関する取り組みを公開している												12.6						
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・木材の乾燥機で使用する燃料を、化石燃料から一部木質バイオマス燃料へ転換し、余剰分の熱量については工場の暖房に使用している							7.2						13					
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・合法性・持続可能性の証明及び間伐材の確認、発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者にて認定されている ・非合法木材を使用していないことの確認を行っている												12.2	13	14	15			
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンスマニュアルを策定し、研修会を開催している																	16	16.5
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンスマニュアルを策定し、研修会を開催している																		16
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・コンプライアンスマニュアルを策定し、研修会を開催している									8.2	8.3	9							
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・コンプライアンスマニュアルを策定し、研修会を開催している ・特定個人情報等取扱規程を策定し、研修会を開催している																		16
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・【予定】自社製品の原材料サプライチェーンの把握に努める																		16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・SGECのFM・CoC認証のなかで、管理及びコンプライアンス等基本方針が定められており、それに沿って加入者及び事業パートナーと共に取り組んでいる					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・信州木材認証センターの認証を受けている ・JAS認証工場に認定されている ・販売担当部署が顧客からのクレーム対応など行っている			3.9										12.4					
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・信州木材認証センターの認証を受けている ・JAS認証工場に認定されている										9								
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・SGECのFM認証、CoC認証を取得しており、環境に配慮された原材料を使い製品を作っている						6							12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・木育活動を通じて、環境問題、水資源問題を学ぶ場を提供している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域との意見交換を行う懇談会を年1回以上開催し、対話に基づき、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17	
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・村内及び矢作川下流域の住民を中心に、木育活動を通じて環境教育の場を提供している ・根羽村の消防団協力事業所に認定されている				4							11				14	15		17
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・根羽村の木材、木工品等を積極的に利用し販売している									8	9		11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営信条、職務意識向上目標を策定している ・PJチームを作り、新しい経営理念及び経営目標の策定を進めている									8	9								17
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社外のコンプライアンス研修会に参加している ・役員向けのコンプライアンス研修会を開催している																		16
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・責任者(参事)を任命している																		16
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている																	16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・コンプライアンスマニュアルを策定し、適切な対応をしている ・現場作業前にリスクアセスメントを行っている																		16
40	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備する																		16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画(BCP)の策定、定期的な訓練を実施する										9		11		13 13.1				16
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・【予定】サクセッションプラン(後継者育成計画)を作成し、検討を進める										8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【教育】地域及び流域の住民や子ども達へ木育活動・環境教育を行い、地域への関心や自然環境保護に関心を持つ人を増やし、持続可能な地域づくり、森林づくりを担う人材を育成する	・地域ESD活動推進拠頭に登録している ・木を利用した教育の場を提供している				4.7		6.7		8.9			11		13		15		

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)